

2017年9月12日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

**“まぐまぐ”を東証1部上場企業に譲渡  
～成長支援を完遂、更なる成長を担う企業へ橋渡し～**

投資ファンド運営のニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区、取締役会長兼社長 安東 泰志、以下「NHC」）は本日、東京証券取引所市場第一部上場のオンライン旅行事業会社、株式会社 エボラブルアジア（本社東京都港区、代表取締役社長 吉村 英毅、以下「エボラブルアジア」）と成長支援を行ってきたメールマガジン配信サービス最大手の株式会社 まぐまぐ（本社 東京都品川区、代表取締役社長 松田 誉史、以下「まぐまぐ」）のNHC 保有分の株式譲渡に関する株式譲渡契約書の締結を行いましたのでお知らせします。

NHC は2014年3月以来、約3年半にわたって開発資金はじめ経営上の問題によって成長の壁に突き当たっていた「まぐまぐ」に対するハンズオンによる思い切った成長支援策を講じてきました。

その結果、メールマガジンの質的向上による大手広告主の掲載を促す施策をはじめ、コンテンツを活用したサービスの付加価値向上を目的とした web メディアの立ち上げなど、活かしきれていなかった「まぐまぐ」の強みを具現化することによって収益体質が伴う成長企業に蘇らせるに至りました。

今回の出口戦略としては、「まぐまぐ」の今後の更なる成長戦略を最優先に考慮した上で、オンライン旅行事業をコアビジネスとして成長著しい「エボラブルアジア」の傘下に入ることが最適な選択であると判断致しました。

以上

〈ニューホライズン キャピタル株式会社〉

成長支援、産業再編、事業再生のプロを多数擁する独立系 PE ファンド。2002年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から2006年10月の会社分割を経て通算15年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額 2,500億円超）を背景に、NHC として2本目、創業から8本目のファンドを運営しています。2002年以

来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとする NHC のチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iae ホールディングス、たち吉、武田産業、SnSnap など、開示可能なエクイティー投資先だけで 37 社、全体では 90 社以上という日本随一の投資実績を有しています。

本件に関するお問い合わせ先：

広報担当（IFC）竹江、上野

電話 03-5532-8921